

- 表示値を固定したい場合は、HOLDキーを押してください。
(4-4参照)
- バックライトを点灯したい場合は、ライトキーを押してください。
(4-3参照)

6. 保守管理

6-1. 電池の交換

⚠ 警告
●ぬれた手で電池の交換を行わないでください。感電の原因となります。
●電源は必ずオフにしてください。

使用している電池が消耗して表示板(LCD)に  が点灯したら、次の手順で電池を交換してください。

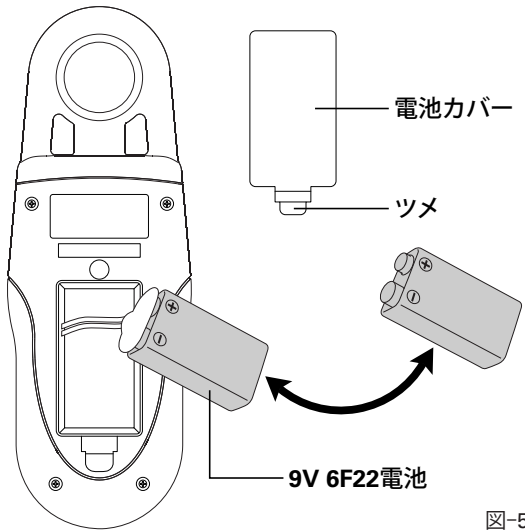


図-5

1. 測定を終了し、電源キーを押して電源をオフにします。
2. 本体背面の電池カバーのツメを上押し、電池カバーを外します。
3. 消耗した電池を取り外します。

品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合には、無償で修理いたします。
ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

記

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理または改造に起因する故障。
3. お買い上げ後の輸送または落下等によって生じた故障。
4. 火災、水害、地震等天災地変によって生じた故障・破損。
5. 消耗部品（電池等）の補充または取り換え。
6. 品質保証書の提出がない場合。
7. その他、当社の責任とみなされない故障。
8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼	年 月 日
故障の症状 故障の原因 (わかったら)	

✂
キリトリ

4. 電池の極性に注意して、新しい9V 6F22 電池1本を取り付けます。
5. 電池を元の位置に戻し、電池カバーを取り付けます。

※付属の電池はテスト用電池です。新品よりも早く消耗することがありますのでご了承ください。

⚠ 注意
●長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。 消耗した電池を内蔵したまま放置すると、電解液が漏出して内部を腐食することがあります。

6-2. 定期的点検・校正

安全で正確な測定を維持するためには定期的な点検・校正が必要です。
本製品は、通常の使用で1年以上許容誤差内の精度を維持できるよう製造されていますが、少なくとも1年に1回は定期的に点検・校正してください。点検・校正は製造元へ依頼されるのが確実な方法です。

6-3. 修理

本製品が正常な動作をせず修理を依頼される場合には、事前に次の点検をして故障を確認してください。

1. 電池が接触不良となっていないか。電池の極性が間違って設置されていないか。
2. 電池が消耗していないか。
(消耗すると表示板(LCD)に “ ” が点灯します。)
3. 測定入力为本製品の規定レンジ以内であるか。
4. 使用環境内における測定精度であるか。
5. 本体にひび、割れなど損傷がないか。

以上の点検を通して故障であることが確認できましたら、修理を依頼してください。修理は販売店へ依頼されても結構ですが、弊社の製造サービス課宛へ直送されますと修理期間も短縮されます。
直送される場合、品質保証書に購入年月日、販売代理店名および所在地が記入されているか確認し、または購入時のレシートを添え、「修理依頼」に故障の症状と原因を記入し、切り離して修理品と一緒に送ってください。

この品質保証書の添付がないと、修理はお請けできませんので、ご了承ください。

お送りいただく小包には、「修理品在中」と記し、住所、氏名、電話番号も忘れずに明記してください。

修理完了後に代金引換小包便にて返送いたします。

お問い合わせ・修理品の送付先	
カイセ株式会社	
製造サービス課	
〒386-0156 長野県上田市林之郷422	
TEL (0268) 35-1602 / FAX (0268) 35-5515	
Email : service@kaise.com	

カイセ株式会社

kaise www.kaise.com	本社	〒386-0156 長野県上田市林之郷422 TEL (0268) 35-1600 / FAX (0268) 35-1603
	東京支店	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-3 18山京ビル2F TEL (03) 6225-2615 / FAX (03) 6225-2616

製品の仕様や外観は改良などのため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

JISで規定されている場所別照度推奨値(参考)

■住宅

領域、作業または活動の種類		照度(lx)
居間	手芸、裁縫	1000
	読書	500
	団らん、娯楽	200
	全般	50
書斎	勉強、読書	750
	VDT作業(コンピュータを用いた作業)	500
	全般	100
子供室 勉強室	勉強、読書	750
	遊び、コンピュータゲーム	200
	全般	100
応接室(洋間)	テーブル、ソファ、飾り棚	200
	全般	100
座敷	座卓、床の間	200
	全般	100
食堂	食卓	300
	全般	50
台所	調理台、流し台	300
	全般	100
寝室	読書、化粧	500
	全般	20
	深夜	2
家事室 作業室	手芸、裁縫、ミシン	1000
	工作、VDT作業(コンピュータを用いた作業)	500
	洗濯	200
	全般	100
浴室・脱衣室 化粧室	ひげそり、化粧、洗面	300
	全般	100
便所	全般	75
階段・廊下	全般	50
	深夜	2
納戸・物置	全般	30
玄関(内側)	鏡	500
	靴脱ぎ、飾り棚	200
	全般	100
門 玄関(外側)	表札・門標、新聞受け、押しボタン	30
	通路	5
	防犯	2
車庫	全般	50
庭	パーティー、食事	100
	テラス、全般	30

■学校

領域、作業または活動の種類		照度(lx)
作業	精密工作、精密実験	1000
	精密製図	750
	美術工芸製作、板書、キーボード操作、図書閲覧	500
学習空間	製図室	750
	被服教室、電子計算機室、実験実習室、図書閲覧室	500
	教室、体育館	300
執務空間	講堂	200
	保健室、研究室	500
	教職員室、事務室、印刷室	300
共用空間	会議室、放送室、厨房	500
	宿直室、食堂、給食室	300
	集会室、書庫、ロッカー室、便所、洗面所	200
	階段	150
	倉庫、廊下、渡り廊下、昇降口	100
	車庫	75
	非常階段	50

■事務所

領域、作業または活動の種類		照度(lx)
作業	設計、製図	750
	キーボード操作、計算	500
執務空間	設計室、製図室、事務室、役員室	750
	印刷室、電子計算機室、調理室、制御室、守衛室	500
	受付	300
共用空間	玄関ホール(昼間)	750
	会議室、集会室、応接室	500
	宿直室、食堂、化粧室、エレベータホール	300
	喫茶室、湯沸室、書庫、更衣室、便所、機械室	200
	階段	150
	休憩室、倉庫、廊下、エレベータ、玄関ホール(夜間)	100
	屋内非常階段	50

■工場

領域、作業または活動の種類		照度(lx)
作業	精密機械、電子部品の製造、印刷工場での極めて細かい視作業	1500
	化学工場での分析などの細かい視作業	750
	一般の製造工場などでの普通の視作業	500
	倉庫内の事務	300
	粗な視作業で限定された作業	200
	荷積み、荷降ろし、荷の移動など	150
	設計室、製図室	750
執務空間	制御室	200
	作業を伴う倉庫、電気室、空調機械室、便所	200
共用空間	階段	150
	倉庫、廊下、通路、出入口	100
	屋内非常階段	50

■保健医療施設

領域、作業または活動の種類		照度(lx)
作業	視診、救急処置、分娩助助、注射、製剤、技工	1000
	剖検、窓口事務	500
	包帯交換(病室)、ギブス着脱、ベッドの読書	300
診療 検査空間	救急室、処置室、手術室、視機能検査室	1000
	診察室、回復室、一般検査室、計測室、霊安室	500
	消毒室、滅菌室、麻酔室、X線室、内視鏡検査室	300
	病室	100
	眼科暗室、眼底検査室	75
	研究室、事務室、医局、薬局、製剤室、技工室	500
	院長室、所長室	300
共用空間	会議室、図書室	500
	講堂、展示室、栄養室、相談室、宿直室、食堂	300
	待合室、薬品倉庫、浴室、便所、病棟の廊下	200
	階段	150
	玄関ホール	100
	動物室、暗室(写真など)、非常階段	50
	深夜の病室および廊下	5

■商業施設(物品販売店)

領域、作業または活動の種類		照度(lx)
商店の一般 共通事項	陳列の最重要部	2000
	重要陳列部、エスカレータなど乗降口、レジスタ	750
	エレベータホール、エスカレータ	500
	商談室、アトリウム・モール	300
	応接室、洗面所、便所	200
	階段	150
	休憩室、廊下	100